



呼吸器外科医療録⑤

たばこと肺の病気



皆さんにあまり知られていない、たばこが一因となる肺の病気について説明します。

①肺がん

耳にタコですね。吸わない人より男性で4.4倍、女性で2.8倍もなりやすいです。

②肺気腫

肺は小さな肺胞という袋で酸素と二酸化炭素を入れ替えますが、その壁が壊れて、呼吸がうまくできなくなり、息切れがひどくなる病気です。

③慢性気管支炎

たばこの煙で、気管支に炎症を起

こし、痰や咳が増え、息切れがひどくなる病気です。

④間質性肺炎

さまざまな原因でおこる病気です。肺胞の壁が炎症を起こして厚くなり、乾いた咳、息切れがひどくなります。急激に悪化すると予後は悪く、約半数の方が亡くなるといわれます。

他にも、睡眠呼吸障害、細菌性肺炎、アレルギー性肺炎、一般的な風邪にもなりやすいです。

残念ながら、肺が壊れると元には戻りません。できるだけ早めの禁煙が大切です。

けんこうQ&A 在宅医療⑤

訪問診療と 往診の違いは？



「訪問診療」と「往診」は、どちらも医師が自宅へ訪問して診療を行う点は同じですが、内容や目的には違いがあります。

訪問診療は、通院が難しい患者さんに対して、あらかじめ診療計画を立て、定期的に医師が訪問する医療です。月に1～2回、自宅を訪問して、症状や生活状況の確認、身体診察や必要に応じて血液検査なども行いお薬を処方します。

一方、往診は急な発熱や痛み、体調悪化など予想外の症状が出たときに、その都度医師が訪問して診察を行う

ものです。いわば「臨時の訪問診療」と考えると分かりやすいでしょう。

在宅医療では、普段は訪問診療で体調管理を行い、急な変化があった場合には往診に対応する、という形が多くみられます。ただし、体調悪化時に必ずしも医師が往診をするわけではなく、訪問看護師から電話で状況報告を受け、看護師への指示対応とするか、往診を行うか、救急搬送を促すかを判断します。

